

8. 企業収益・業況判断

企業収益は、感染症の影響により、非製造業では弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。

企業の業況判断は、厳しさは残るものの、持ち直しの動きがみられる。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査（2020年12月調査）」

(前年同期比、%)

経常利益		2017年度	2018年度	2019年度 実績		2020年度 計画			
		実績	実績	上期	下期	上期	下期		
全規模	全産業	12.0	0.4	▲ 9.6	▲ 5.1	▲ 14.6	▲ 35.3	▲ 43.4	▲ 25.3
大企業	製造業	20.8	▲ 0.9	▲ 17.5	▲ 15.9	▲ 19.7	▲ 25.5	▲ 36.7	▲ 9.6
	非製造業	14.3	▲ 0.1	▲ 7.8	▲ 1.9	▲ 14.7	▲ 41.9	▲ 46.4	▲ 36.0
中小企業	製造業	4.0	▲ 1.8	▲ 18.1	▲ 11.9	▲ 24.4	▲ 39.7	▲ 52.0	▲ 25.3
	非製造業	▲ 0.5	1.1	0.7	7.2	▲ 4.7	▲ 36.9	▲ 45.8	▲ 28.6

財務省「法人企業統計季報」

(前年同期比、()内は季調済前期比、%)

経常利益	2019年	2020年	2018年度	2019年度	2020年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
全規模全産業	▲ 3.5	▲ 27.3	6.2	▲ 13.1	▲ 28.4 (▲ 11.9)	▲ 46.6 (▲ 27.0)	▲ 28.4 (32.2)	▲ 0.7 (15.5)
製造業	▲ 17.6	▲ 21.7	3.1	▲ 21.6	▲ 25.3 (▲ 6.7)	▲ 48.7 (▲ 32.0)	▲ 27.1 (47.3)	21.9 (31.7)
非製造業	4.6	▲ 29.8	7.9	▲ 8.6	▲ 29.6 (▲ 14.1)	▲ 45.5 (▲ 24.7)	▲ 29.1 (25.9)	▲ 11.2 (7.5)
大中堅企業	▲ 6.3	▲ 26.8	8.2	▲ 16.5	▲ 34.1 (▲ 16.8)	▲ 35.3 (▲ 3.1)	▲ 25.5 (9.0)	▲ 9.4 (▲ 0.8)
中小企業	4.4	▲ 28.4	0.9	▲ 3.7	▲ 16.8 (0.5)	▲ 79.6 (▲ 77.6)	▲ 35.4 (244.6)	24.6 (62.6)

(備考) 大中堅企業・中小企業の季調済前期比は内閣府試算値。

(%ポイント)

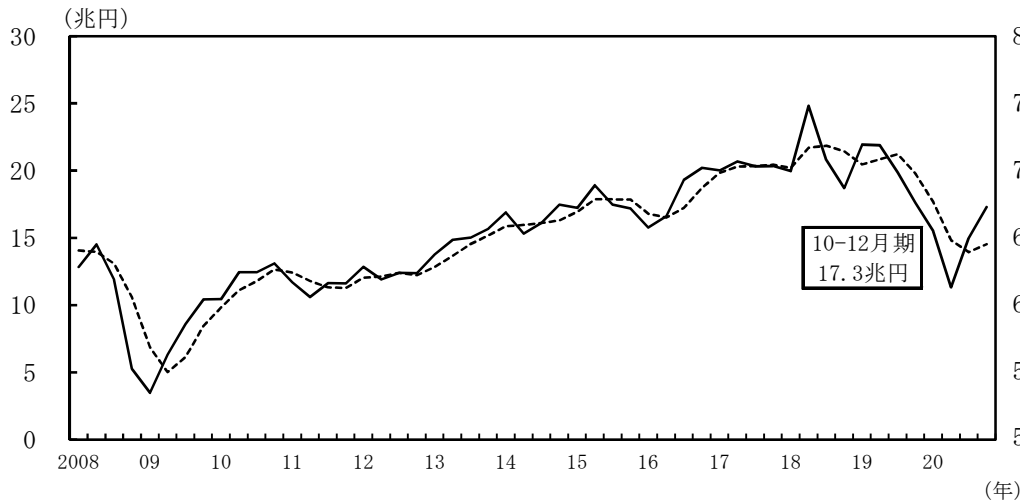
日本銀行「全国企業短期経済観測調査（2020年12月調査）」

→ 見込み

業況判断D I		2019年6月	9月	12月	2020年3月	6月	9月	12月	2021年3月
全規模	全産業	+ 10	+ 8	+ 4	▲ 4	▲ 31	▲ 28	▲ 15	▲ 18
	製造業	+ 3	▲ 1	▲ 4	▲ 12	▲ 39	▲ 37	▲ 20	▲ 19
	非製造業	+ 14	+ 14	+ 11	+ 1	▲ 25	▲ 21	▲ 11	▲ 16
大企業	製造業	+ 7	+ 5	+ 0	▲ 8	▲ 34	▲ 27	▲ 10	▲ 8
	非製造業	+ 23	+ 21	+ 20	+ 8	▲ 17	▲ 12	▲ 5	▲ 6
中小企業	製造業	▲ 1	▲ 4	▲ 9	▲ 15	▲ 45	▲ 44	▲ 27	▲ 26
	非製造業	+ 10	+ 10	+ 7	▲ 1	▲ 26	▲ 22	▲ 12	▲ 20

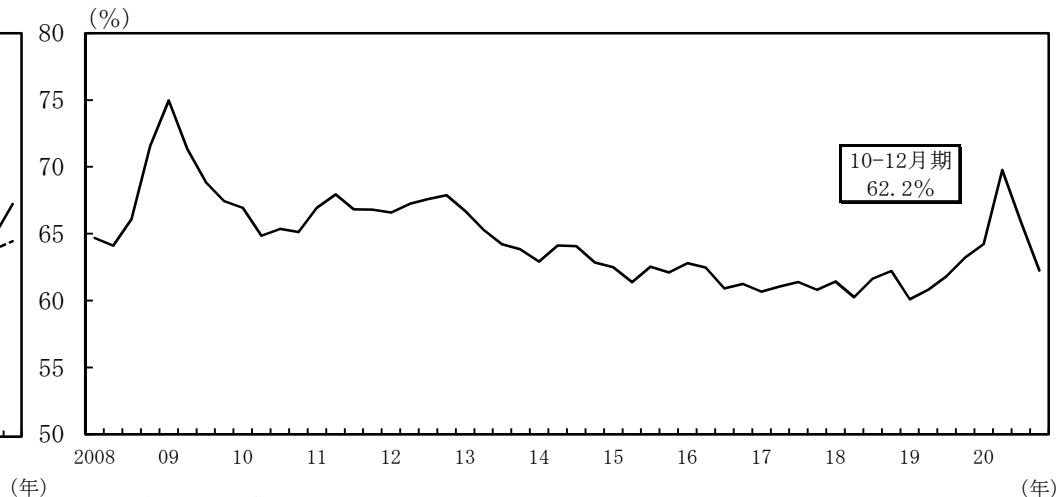
(備考) D I = 「良い」とみる企業の割合 (%) - 「悪い」とみる企業の割合 (%)

<企業収益>
経常利益額の推移



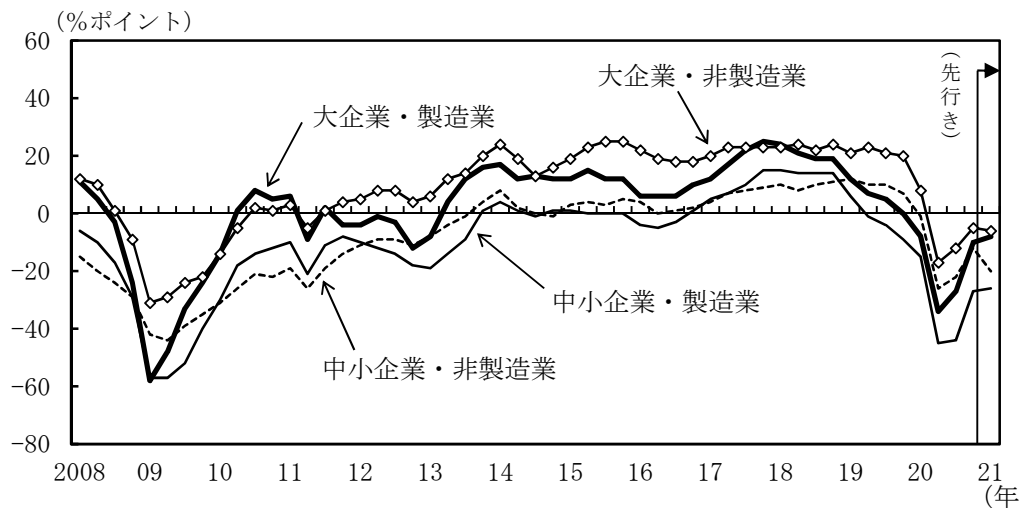
(備考) 1. 財務省「法人企業統計季報」により作成。
2. 季節調整値。点線は後方3四半期移動平均。

労働分配率の推移



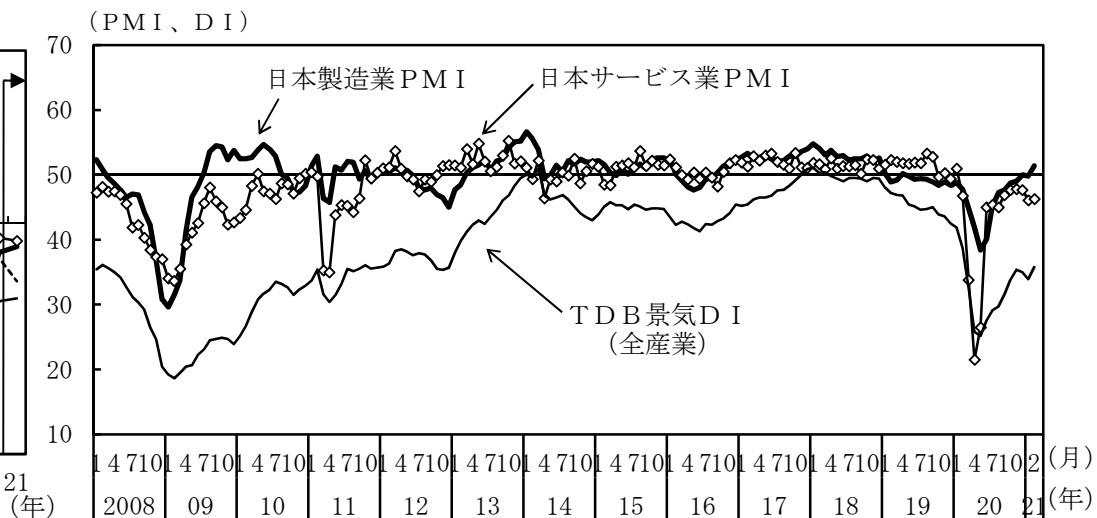
(備考) 1. 財務省「法人企業統計季報」により作成。
2. 労働分配率=人件費/(人件費+営業利益+減価償却費+受取利息)
3. 内閣府の試算による季節調整値。

<企業の景況感>
日銀短観の業況判断DIの推移



(備考) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」により作成。DIは「良い」-「悪い」。

各種調査における業況判断指標の推移



(備考) 1. IHS Markit社、(株)帝国データバンク「TDB景気動向調査(全国)」により作成。
2. PMIは、「前月に比べ増加(改善)」の回答割合と、「前月に比べ変化なし」の回答割合を2で除した値を足した値(季節調整値)。DIは、景気の現状について7段階の評価に応じた評点により加重平均して算出した値。